

基本目標 2 健康でいきいきとした暮らしを支える 第8期介護保険事業計画 P65～P81

No	施策の方向性	主な取組み	事業	実施内容	担当課	関係部署	令和5年度の取り組み（成果）・現在の課題	評価
1	生きがいづくりの推進と就労支援	(1) 高齢者大学	-	高齢者大学は、学びや奉仕活動を通して、高齢者の生きがいや地域社会をより豊かにすることから、今後も事業を継続していきます。	生涯学習課		学習及び各種学校行事を実施したほか、自主的なクラブ活動を奨励しました。実生活に即した教養を高める学習や活動の機会を提供したほか、趣味活動や社会参加を奨励することにより、高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを支援することができました。 現在の課題は学生数が減少傾向にあることですが、学生アンケートの意見を取り入れ魅力ある講座内容の見直しを検討したほか、広報紙で高齢者大学・市民大学の特集を組み、市民への積極的な情報発信を行うなど、学生数の増加を目指して活動しました。 第1学年修了者：44人 第2学年修了者：39人 第3学年修了者：26人 第4学年卒業生：43人 合計152人	○
		(2) 高齢者スポーツ・レクリエーション活動	-	高齢者が参加しやすいスポーツ・レクリエーションイベントや講座を開催し、各種団体活動の周知を図るとともに、高齢者の生活が活気に満ちて充実したものとなるよう、高齢者のスポーツ・レクリエーション活動を引き続き支援します。	スポーツ振興課		令和6年3月24日（日）に開催した久喜マラソン大会において、65歳以上の方が219人参加し、健康増進と体力の維持向上を図ることができた。 引き続き、市民のニーズに沿ったスポーツ・レクリエーションイベント等を実施していく。	○
		(3) 就労支援	-	埼玉県やハローワークなどの関係機関と連携を図りつつ、引き続き高齢者の就労に関する情報提供を行います。	商工観光課		県等の関係機関から送付される各種講座等のパンフレットを配架しました。	○
2	社会参加活動の支援	(1) 彩愛クラブ（老人クラブ）	-	広報くまやメール配信等により彩愛クラブの活動内容等を周知し、彩愛クラブの活動を支援します。 また、久喜市彩愛クラブ連合会と各単位クラブへ補助金を交付することで積極的な活動を促し、高齢者の地域活動や社会活動のさらなる充実を図ります。	社会福祉課		久喜市老人クラブ活動費等補助金交付要綱に基づき、久喜市彩愛クラブ連合会及び単位老人クラブに対して補助を行いました。 会員の増員が今後の課題です。	○
		(2) 地域住民とのふれあい活動・ボランティア活動	-	いきいきデイサービス事業や、社会福祉協議会のふれあいいきいきサロンを案内するなど、高齢者の通いの場への参加を引き続き支援することにより、高齢者が地域住民とふれあう機会を確保するとともに、支援の担い手として活躍できる機会づくりについて、さらなる推進を図る必要があります。 今後も、高齢者がボランティア活動を通じて地域貢献や介護予防に取り組むことについて支援します。	高齢者福祉課	社会福祉協議会	地域の通いの場を探している方へ、いきいきデイサービス事業や、社会福祉協議会のふれあいいきいきサロンを案内しました。 いきいきデイサービス事業では、登録ボランティアの台帳整備を継続しました。 介護予防ボランティアポイント事業を実施し、社会参加活動を通じた介護予防に取り組む体制を整えました。 課題：介護予防ボランティアポイント事業及びいきいきデイサービス事業の登録者数の増加が課題です。	○
		(3) 多世代間交流の推進	-	交流活動については、児童生徒からも訪問先の施設利用者の方からも好評です。今後も各学校と介護施設等の交流活動などを通じて、高齢者と子どもたちが接点を持つ機会を確保します。	指導課		各学校と高齢者との交流活動を市内小中学校で実施しました。総合的な学習の探究する課題に高齢者福祉を取り上げ、疑似体験や施設見学、交流会等に取り組みました。社会体験チャレンジとして、中学生が介護施設等での職場体験を行いました。利用者さんとのオンライン交流は難しい場合が多いが、介護者の方へのオンラインインタビューを行うなど、交流の仕方を検討していくことが課題です。	○
3	健康長寿のための健康づくりの推進	(1) 健康長寿のための健康づくりの推進	-	地域の住民が主体的に取り組んでいる健康づくりの活動について、生活支援コーディネーターなどが継続的に情報収集を行い、支援を必要とする地域の高齢者に収集した情報を提供することで高齢者の健康づくりを支援します。 また、保健事業と介護予防の一体的な取り組みについて、関係課と検討を進めます。	高齢者福祉課		地域の住民が主体的に取り組んでいる活動等について、生活支援コーディネーターが情報を収集しました。情報は、地域ケア会議で紹介するとともに、冊子発行及びwebサイトに掲載し、地域の高齢者の健康づくりを支援しました。 課題：地域ケア会議の事例紹介では、個人情報保護の観点から、対象者の住所等が開示されていないので、適切な地域資源情報を紹介することが課題です。	○
					高齢者福祉課	国民健康保険課 介護保険課 健康医療課 地域保健課	・通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ） 管理栄養士・保健師による通いの場への介護予防の普及活動を4会場にて年間4回実施しました。 課題：フレイル予防の周知のために訪問先や参加者の確保が課題です。	○

No	施策の方向性	主な取組み	事業	実施内容	担当課	関係部署	令和5年度の取り組み（成果）・現在の課題	評価
4	高齢者福祉サービスの充実	(1) 高齢者の生活支援のための事業	ア 配食サービス事業	食生活の改善や安否確認による単身高齢者等の安心安全の確保に効果があることから、今後も事業の継続に努めます。	高齢者福祉課		見込み量：延べ利用者数56,900人 実績：69,076人 比較：12,176人、達成率121.39% 課題：より多くの方にサービスを利用していただけるよう引き続き周知していく必要があります。	◎
			イ 寝具乾燥消毒等サービス事業	寝たきり高齢者等の衛生環境改善に効果があることから、今後も事業周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：年度未登録者数25人 実績：7人 比較：△18人、達成率28% 課題：年度未登録者数が見込み量を下回っています。より多くの人に寝具乾燥消毒等サービスを利用していただくために周知させることが課題です。	×
			ウ 訪問理容サービス事業	理容店に行くことが困難な寝たきり高齢者等の衛生状態の改善を図れることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：年度未登録者数75人 実績：80人 比較：5人、達成率106.66% 課題：より多くの方にサービスを利用していただけるよう引き続き周知していく必要があります。	○
			エ 久喜宮代衛生組合ふれあい収集	集積場へゴミ出しに行くことが困難な高齢者宅のゴミを回収することは、生活衛生環境の改善につながることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課	久喜宮代衛生組合	地域住民やケアマネジャー等からの問い合わせに対応し、久喜宮代衛生組合へ申請書類を引き継ぎました。 課題：今後も事業周知に努めてまいります。	○
			オ いきいきデイサービス事業	利用者が介護予防に対する理解を深められるよう、身体状況に合わせたサービスメニューを提供できるよう努めます。	高齢者福祉課		見込み量：会場数24か所、年間実利用者数400人 実績：24か所、284人 比較：±0か所、△116人、達成率71% 課題：年間実利用者数が見込み量を下回っています。	×
			カ 倍楽荘ショートステイ事業	市民の諸事情により、高齢者を預ける必要が生じた際に、受け入れ施設があることは、高齢化社会のニーズに必要なことから、今後も利用促進に努めます。	高齢者福祉課		見込み量：年度未登録者数6人、延べ利用日数110日 実績：3人、9日 比較：3人、9人、達成率：50%、8% 延べ利用人数：1人 課題：登録者数、延べ利用日数共に見込み量を下回っています。	×
		(2) 高齢者の安心のための事業	ア 緊急時通報システム事業	独居高齢者や高齢者のみの世帯員が、急病等により消防署へ簡単に通報できるシステムがあることにより、安心して生活できることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：年度未設置台数945台 実績：932台 比較：△13台、達成率98.62% 課題：年度未設置台数が見込み量を下回っています。	◎
			イ 高齢者日常生活用具購入費助成事業	火の使用機会の削減や初期消火、火災報知は、高齢者の生命に関わることなので、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：電磁調理器助成件数：2件、火災報知器助成件数：1件、自動消火器助成件数：1件 実績：0件、0件、0件、 比較：△2件、△1件、△1件 達成率：0.00%、0.00%、0.00% 課題：年間実利用者数が見込み量を下回っています。	×
			ウ 「日常生活自立支援事業」（あんしんサポートねっと）利用料助成事業	高齢者等が、認知機能の低下により、金銭管理等が難しくなった場合公的機関がサポートすることにより、自立的な生活を支援することができることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課	社会福祉協議会	見込み量：年間利用者数21人 実績：13人 比較：△8人、達成率61.90% 助成件数：225件（内訳：福祉サービス：0件 日常的な金銭管理：221件、書類預かりサービス：4件） 課題：年間実利用者数が見込み量を下回っています。	×
			エ 徘徊高齢者・障がい者探索システム事業	認知機能等の低下により、徘徊行動を起こす高齢者をGPSの位置情報で居場所を特定できることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：延べ貸与件数12件 実績：10件 比較：△2件、達成率83.33% 課題：延べ貸与件数が見込み量を下回っています。	×
			オ 徘徊高齢者・障がい者見守りオレンジール交付事業	認知機能等の低下により、徘徊行動を起こす高齢者の靴に識別番号入りのオレンジールを貼ることにより、行方不明になった際、速やかに身元が特定され保護に繋がることから、今後も事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：新規登録者数20人 実績：23人 比較：3人、達成率115% 課題：より多くの方にサービスを利用していただけるよう引き続き周知していく必要があります。	◎

No	施策の方向性	主な取組み	事業	実施内容	担当課	関係部署	令和5年度の取り組み（成果）・現在の課題	評価
		(3) 高齢者の生活を支える高齢者福祉施設等のサービス	ア 高齢者福祉センター事業	高齢者の健康増進及び介護予防の拠点として、カラオケ大会や健康講座等を通じていきいき健康に過ごしていただくため、今後も施設の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		見込み量：延べ利用者数23,300人 実績：延べ利用者数11,230人 比較：延べ利用者数△12,070人 達成率48.19% 課題：延べ利用者数が見込み量を下回っています。	×
			イ 老人福祉センター事業	今後も高齢者の健康増進及び介護予防の拠点として事業の充実を図るとともに、施設の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		高蒲老人福祉センター 見込み量：延べ利用者数20,020人 実績：14,212人 比較：△5,808人、達成率70.99% 課題：延べ利用者数が見込み量を下回っています。 鶯宮福祉センター 見込み量：延べ利用者数21,450人 実績：12,944人 比較：△8,506人、達成率60.34% 課題：延べ利用者数が見込み量を下回っています。	×
			ウ 彩嘉園事業	彩嘉園で実施している、運動器や口腔機能等の向上を目的とした介護予防体操や認知症、閉じこもり予防等の事業の周知に努め、利用促進を図ります。	高齢者福祉課		彩嘉園 見込み量：延べ利用者数1,830人 実績：1,080人 比較：△750人、達成率59.01% 課題：延べ利用者数が見込み量を下回っています。	×
			エ 養護老人ホーム	在宅生活が難しい高齢者に対し、地域包括支援センター等と連携して、養護老人ホームにおいて自立した生活ができるよう支援します。	高齢者福祉課		見込み量：年度末利用者数50人 実績：33人 比較：△17人、達成率66.00% 課題：利用者数が減少しています。	×
			オ 軽費老人ホーム（ケアハウス）	定員については有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等の定員と併せ、需要の確認を行っていく必要があります。また、介護保険サービスを必要とする方が適切にサービスを受けられるよう、既存施設の特定施設化を促します。	介護保険課		特定施設化 0件	×
			5	高齢者の居住安定に係る施策との連携	(1) 高齢者の居住安定に係る施策との連携	-	引き続き、各種の高齢者福祉サービスを実施するとともに、医療と介護のサービスを受けながら在宅生活を安定させることができる体制を推進します。また、あんしん賃貸住まいサポート店等、住まいに関する情報の提供について、県や関係機関と連携し、住まいの確保と生活の一体的な支援を継続します。	高齢者福祉課
					介護保険課		現在の課題：住み慣れた地域で本人が希望する生活を送ることができるよう、サービスの継続と、医療・介護の提供が円滑に行われるよう、更なる関係機関の連携強化を図る必要があります。	○
					都市整備課		看護小規模多機能型居宅介護「ケアステーション縁」が令和4年7月に開所済み。	○
							高齢者からの住まいに関する相談の中で、公的賃貸住宅やあんしん賃貸住まいサポート店等について情報提供した。	○

評価：基準とする内容
◎：計画の目標を上回っている（目標や見込値から5%を超えて上回ったもの）
○：計画どおりに進んでいる（目標や見込値に対し-10%～+5%以内の結果となったもの）
×
×：計画の目標を下回っている（目標や見込値から10%を超えて下回ったもの）